

輝くひと

第8回

「いつか湖のほとりで」

磯山 純さん(シンガーソングライター)



毎月第2・第4金曜日の夕方から、水戸駅周辺で歌う磯山純さん。音楽で水戸を盛り上げようとしている、水戸市出身のシンガーソングライターです。東京で塾講師として働きながら、主に東京と茨城で音楽活動を行っています。9月には、県民文化センターでのワンマンライブを満席にし、成功させました。

磯山さんが音楽活動を始めたきっかけは、茨城高等学校在学中に、同じクラスの友人と2人で、アコースティックユニットを組んだこと。大学進学後も活動を続け、アコースティックユニット「Lonin(ろにん)」として、都内の有名ライブハウスなどでライブを行い、徐々に人気を得ました。音楽事務所にも所属し、メジャーデビューを目指しましたが、磯山さんの喉に声帯ポリープが見つかり、長期の休養を余儀なくされ、2010年にユニットは解散。音楽事務所からも身を引きました。

しかし、その後、磯山さんは、喉の治癒を待ち、2011年から音楽活動を1人で再開させます。音楽活動を行うなかで、お客さんが、自分の曲や歌詞に感動・共感してくれたことに強い魅力を感じていたこ

とが大きな理由でした。また同時に、水戸駅前などが寂しくなっていく状況や、東日本大震災で大きな被害を受けた水戸のまちを見て「故郷水戸を音楽で活気あるまちにしたい」と考えたことも、きっかけになったといいます。

高校生の頃、千波湖畔が練習場所だったという磯山さん。周囲の豊かな自然を感じながら練習したことが、思い出に残っているそうです。ライブで必ず歌う「いつか湖のほとりで」という曲は、その千波湖畔の情景を歌ったもので「千波湖で1万人規模の野外イベントを開催したい」という夢が込められています。

磯山さんは、「日々の生活のなかで、うつむきがちな方に曲を聴いてもらいたい」といいます。今後も、人を、そして、自分を思いやれる曲を作ることを目標としています。等身大の詞を透明感のある声で歌う磯山さんの曲を、皆さんも聴いてみてはいかがでしょうか。

※ライブ情報など、詳細は、ホームページ(<http://isojun.info>)をご覧ください。

問2 生活・文化

水戸市の小学生スポーツチーム「バイオリンス国田」が、昨年日本一となった種目は何でしょうか。

① ドッジボール
② 一輪車競争
③ ミニバスケットボール
④ 縄跳び

正解率
68%

問1 歴史・史跡

佐竹氏の秋田移封後、最初に水戸城主になった、徳川家康の子は誰でしょうか。

① 五男 武田 信吉
② 六男 松平 忠輝
③ 九男 徳川 義直
④ 十男 徳川 頼宣

正解率
29%

知ってる？
知って得！

水戸
検定

第37回

問1…① 徳川家康は、水戸城を重視し、最初に五男武田信吉、次に十男徳川頼宣を配りました。頼宣が駿河・遠江に移された後に十一男頼房が配られ、水戸徳川家の初代となりました。
問2…① 第21回全日本トッポシボール選手権全国大会に初出場し、優勝しました。

問題監修 茨城大学
主催 水戸検定実行委員会